



学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ こころと体をきたえ 進んで運動する子

神崎市青少年主張大会



1 月 3 1 日 (日)、神崎市青少年主張大会が開催されました。今年度は発表者の人数を減らす

など規模が縮小され、市内小中学校の各校の代表が自分の考えを主張しました。自分の体験から学んだこと、社会問題になっていること、家族や自分自身のこと、将来の夢など一人一人が自信を持って発表しました。

(前号で紹介していましたが) 仁比山小学校からは、6 年生の田中清椰さんが堂々と発表しました。発表内容は裏面に

載せています。講評の中で末次教育長は「家族団らんはエネルギーの源、たくさんパワーをくれます、に家族との会話がとても楽しく大切なことがしっかり伝わってきました。あたたかい雰囲気や家族の優しさもよくわかりました。」と感想を述べられました。

二分の一成人式(4年生)



自分の将来の夢やこれからがんばることを発表。



感謝の気持ちを寸劇「家族あるある」と台奏で。



心を込めた手紙を渡しました

1 月 2 9 日 (金)、2 校時、4 年生の「二分の一成人式」でした。司会進行、プログラム作成、はじめの言葉、終わりの言葉など、子どもたちが行いました。私は、「二分の一成人証書」をひとりひとりに渡し、その後 4 年生に向けて話をしました。

証書を受け取る姿は、いつもと違う、緊張している、凜とした姿でした。私の話の時も、きらきらした目でしっかりと話も聞きました。次に、ステージでは、感謝の気持ちを込めて、寸劇と台奏を披露しました。

その後、子どもたちは立ち上がり「自分の将来の夢やこれからがんばること」を、ひとりひとり堂々と発表することができました。最後に、心を込めて書いた家族への手紙を渡しました。

この 10 年間、4 年生の子どもたちは大きく成長してきたんだ、と見ている私も思わず涙が出てくるほど感動する「二分の一成人式」でした。「二分の一成人式」は「節目」です。これからも成長していく子どもたちを、ご家庭、地域であたたかく見守っていただきますよう、よろしくお願いします。

*新型コロナウイルス感染症感染防止のために、この日予定していた「親子の集い」を中止とさせて頂きました。申し訳ありません。ご理解、ご了承ください。

家族と話そう

仁比山小学校

六年

田中 清柳

家族団らんは、ぼくのエネルギーの源です。家族がそろって楽しい会話をしながら食事をする。それは、とても大切なことであると気付いていませんでした。

家族団らんの大切さに気付いたきっかけがありました。ぼくは地域のバレーボールクラブに入り、週に三日練習があり、家族と一緒に食事をするのが少なくなっていました。会話も減っていきました。それまでは、学校であったことなど、その日のうちに家族と話して笑ったり、怒られたり励ましてくれたり、わいわい話すことで気分が軽くなっていました。ですが、クラブに入ってから、練習が終わって家に帰ると、家族の食事は終わっていて、話す機会が減ってしまったのです。一人での食事は、何だか寂しく、おいしさもあまり感じられません。これから、中学生になるとますます家族団らんの時間が減るのではないかと寂しい気持ちでした。

運動会で、ぼくは、副団長をすることになりました。副団長としてぼくは、率先して声をだして全校を引っぱったり、荷物運びなどの仕事も進んで引き受けました。そのことを家族にも話してぼくのがんばりを分かってもらいたかったけど、なかなか話すチャンスはありませんでした。話せない日が続き、もんもんとした気持ちになっていました。ですが運動会が終わって、応援に来てくれていた家族が、たくさん話しかけてくれ、ぼくは、一気に運動会でがんばったことを話しました。その時、ぼくは、自分が家族に話したかったんだということを実感しました。家族に話すことで、気持ちがすっきりしたし、負けて悔しいという気持ちも家族が受け止めてくれたことで、前向きな気持ちになることができました。

家族で話すことの大切さを実感したぼくは、朝、早起きして家族にいろんな話をするようになりました。以前は、スマートフォンをいじる時間が長かったのですが、今は、スマートフォンよりも家族と話す時間を意識してとるようにしています。お母さんは、とてもいそがしそうにしていますが、食器を洗ったり、家事をしながら、ぼくの話をしっかり聞いてくれます。お父さんとも野球観戦に行く途中の車の中で、いろんな話をします。野球観戦も楽しいけれど車の中で、たくさん会話ができることもとても楽しい時間です。

家族団らんは、ぼくにたくさんのパワーをくれます。嫌だったことも家族で大笑いすれば吹き飛んでしまいます。家族はいつもぼくの味方です。中学になり、ますますいそがしくなるとは思いますが、これからもたくさん話をし、家族と過ごす時間を大切にしていきたいと思っています。